

各学科の履修方法

学科ごとに、「教育課程表(カリキュラム)」が定められている。また、同じ学科であっても入学年度によって教育課程表が違ふ場合もある。自分の所属する学科および入学年度の履修方法をよく読み、自分が所属する学科を卒業するために必要な科目は何か、どのように履修すれば良いか理解し、科目登録を行うこと。疑問・質問がある時は、各学科の教務センター担当教員もしくは教務センター窓口にご相談すること。

現代ビジネス学部 現代ビジネス学科

1 専門教育科目の構成

1. 現代ビジネス学科の教育目的

今世紀に入り、ビジネスをめぐる環境は、先進国の度重なる金融危機や新興国も含めた国際政治の不安定化にみられるように、必ずしもクリアではない。そうした中で、「IT革命」、「自然エネルギー革命」、「インダストリー 4.0」と呼ばれるような変革が進行し、産業構造や産業組織、企業形態などにも影響を与えている。

現代ビジネス学部・学科は、こうした状況にあって、その名の通り、現代ビジネスの「学」を体系的に学ぶ学部・学科として設立された。その場合、現代ビジネスとは、株式会社などの営利企業だけでなく、NPOなどの非営利団体や行政組織等を含む、それら全体の活動を意味する。

本学部・学科では、そうした広い視野に立脚し、ビジネス学の土台をふまえ、その上に、「観光」、「国際」、「地域」をキーワードとしたより実践的な教育体系を構想している。

2. 現代ビジネス学科の特徴

以上のような目的と構想のもと、本学科の特徴は以下のように示すことができる。すなわち、現代ビジネスを広い意味で捉え、その基礎をビジネス学の土台と位置づけているが、それは、〈経営学〉や〈マーケティング〉、〈商品流通〉、〈経済学〉、〈会計学〉、〈情報処理〉、〈外国語〉などの履修によって習得される。

その上で、より実践的で具体的な専門科目が展開されることになる。そこでの特徴は、講義などのいわゆる座学を前提としつつ、それを実践的に応用するプロジェクト型の学習にある。〈ビジネス実践研究〉、〈ビジネス課題研究〉がそれに当たるが、これらの科目は、少人数で、学年を越えた形で実習や演習として展開される。

3. 教育課程の特色

大学のカリキュラムは、大まかに「一般教育科目」と「専門教育科目」に分けられる。前者の詳細に関しては各学部・学科で共通なのでここでは省略し、後者の「専門教育科目」について説明する。「専門教育科目」は、一部は1年次から開始されるが、主に2年次から本格化することになる。

本学科の「専門教育科目」においては、ビジネス学の全般とビジネス英語を学ぶ「専門基礎科目」のほか、「専門基幹科目」、「専門応用科目」、「専門展開科目」などが設定されている。「専門基幹科目」・「専門応用科目」では、〈経営学〉、〈マーケティング〉、〈商品流通〉、〈経済学〉、〈会計学〉、〈情報処理〉、〈外国語〉などが中心になり、これらの履修を土台として、「専門展開科目」では〈観光ビジネス〉〈旅行実務〉などの観光系科目、〈海外市場〉〈国際協力〉などの国際系科目、〈地域ビジネス〉〈地域資源〉などの地域系科目を履修するように構成されている。

また、2年次からはじまる〈ビジネス実践研究〉、3年次から開始される〈ビジネス課題研究〉は、複数年次にまたがる「演習科目」であり、場合によっては大学のキャンパスを越えた実践の場で学ぶことになる。学生がより主体的に考え行動することが求められる科目である。そして、これら全ての総決算として「卒業研究」が必修化されている。

2 履修方法

◆卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計124単位以上履修しなければならない。

1) 一般教育科目

一般教育科目は38単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

●必修科目(計38単位)

- 1年次:「キリスト教学」、「キリスト教と現代社会」、「基礎演習」、「日本語演習」、「女性と人権」、「音楽の世界」、「社会保障と福祉」、「自然科学入門」、「英語基礎(コミュニケーションⅠ)」*、「英語基礎(コミュニケーションⅡ)」*、「英語基礎(リーディングⅠ)」*、「英語基礎(リーディングⅡ)」*、「運動スポーツ論」
- 2年次:「教養講義B」、「自然科学特論」、「総合コース」(A~Eのなかから1科目選択)
- 3年次:「科学技術論」
- 3~4年次:「特殊研究」

●選択科目

- 2~4年次:「英語展開(リーディングⅢ)」*、「英語展開(リーディングⅣ)」*、「英語展開(ライティングⅠ)」*、「英語展開(ライティングⅡ)」*、「応用ビジネス英語A」*、「応用ビジネス英語B」*
- 3~4年次:「時事英語A」*、「時事英語B」*

●自由科目(卒業要件単位に含まれない)

- 1年次:「ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「ドイツ語リテラシーⅠ・Ⅱ」、「フランス語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」、「フランス語リ

テラシー I・II]、「中国語コミュニケーション I・II]、「中国語リテラシー I・II]、「朝鮮語コミュニケーション I・II]、「朝鮮語リテラシー I・II]

1～4年次：「シーズンスポーツ」

2～4年次：「スキルアップ英語」、「スキルアップドイツ語」、「スキルアップフランス語」、「スキルアップ中国語」、「スキルアップ朝鮮語」、「スポーツ」

2～3年次：「実践フランス語 I」、「実践中国語 I」

3～4年次：「実践フランス語 II」、「実践中国語 II」

3年次：「日本国憲法」

4年次：「キャリア形成論」

※英語科目について

・英語基礎（コミュニケーション I・II）

グローバル化する世界の中で、大学あるいは社会において有益となる英語力を身につけるべく、英語の4技能（listening、speaking、reading、writing）のなかでも特にスピーキングとリスニングに焦点をあて、英語による会話を行うための基礎力を養う。

「英語基礎（コミュニケーション II）」を履修するにあたっては、原則として「英語基礎（コミュニケーション I）」を履修済みでなければならない。

・英語基礎（リーディング I・II）

英文読解力の総合的な増進を目的に、様々なテーマの英文を読み込んでいく。英文読解における流暢さ、理解力を身につけるために、社会・文化・経済など多岐にわたる領域における英文の「多読」を通じた、柔軟で実践的な読解実践を目指す。

「英語基礎（リーディング II）」を履修するにあたっては、原則として「英語基礎（リーディング I）」を履修済みでなければならない。

・英語展開（リーディング III・IV）

「英語基礎（リーディング II）」に引き続き、様々なテーマの英文を読み込みながら英文読解における「スピード」獲得を目指すため、インターネット上の生きた英文素材等を活用し、今日的な話題を取り上げた英文を短時間で多く読む。

「英語展開（リーディング III）」を履修するにあたっては、「英語基礎（コミュニケーション I）」、「英語基礎（コミュニケーション II）」、「英語基礎（リーディング I）」および「英語基礎（リーディング II）」を履修済みでなければならない。「英語展開（リーディング IV）」を履修するにあたっては、原則として「英語展開（リーディング III）」を履修済みでなければならない。

・英語展開（ライティング I・II）

基礎的文法力、語彙力、文章表現力、比較文化的考察力を鍛えるために、英語による文章の文法的な組み立ての基礎を学ぶとともに、さまざまな英文に触れるなかで、手紙やメール、レポート作

成など中級レベル以上の英文作成を、一定の正確さとスピードにおいてできるようになる。

「英語展開（ライティング I）」を履修するにあたっては、「英語基礎（コミュニケーション I）」、「英語基礎（コミュニケーション II）」、「英語基礎（リーディング I）」および「英語基礎（リーディング II）」を履修済みでなければならない。「英語展開（ライティング II）」を履修するにあたっては、原則として「英語展開（ライティング I）」を履修済みでなければならない。

・応用ビジネス英語 A・B

ビジネスの現場に応用可能な総合的な英語力を高める。そのため、経済・産業・ビジネスにかかわる様々な情報や知識、およびビジネス分野での論理的な思考と分析能力を、それぞれ英語で身につけ、国際的なビジネス環境で活躍できる程度の高度なコミュニケーション能力を育む。

「応用ビジネス英語 A」「応用ビジネス英語 B」を履修するにあたっては、「英語基礎（コミュニケーション I）」、「英語基礎（コミュニケーション II）」、「英語基礎（リーディング I）」および「英語基礎（リーディング II）」を履修済みでなければならない。「応用ビジネス英語 B」を履修するにあたっては、「応用ビジネス英語 A」を履修済みであることが望ましい。

・時事英語 A・B

英語圏ならびに非英語圏で流通する媒体を教材とし、英文読解力・英語語彙の向上を目指すとともに、記事の背景となる時事問題の知識を学ぶ。政治、経済、文化、社会、国際関係、社会問題、事件・事故、ライフスタイルなど幅広い領域を扱い、主体的に自分の意見を表明する力を身に付ける。

「時事英語 A」「時事英語 B」を履修するにあたっては、「英語基礎（コミュニケーション I）」、「英語基礎（コミュニケーション II）」、「英語基礎（リーディング I）」および「英語基礎（リーディング II）」を履修済みでなければならない。さらに、「英語展開（リーディング III）」および「英語展開（リーディング IV）」、あるいは「英語展開（ライティング I）」および「英語展開（ライティング II）」を履修済みであることが望ましい。「時事英語 B」を履修するにあたっては、「時事英語 A」を履修済みであることが望ましい。

2) 専門教育科目

専門教育科目は、以下の要件を満たし、合計 80 単位以上履修すること。

- ① 専門基礎科目 必修科目 9 科目 18 単位を履修。
- ② 専門基幹科目 必修科目 9 科目 18 単位を履修。
- ③ 専門応用科目 選択科目 6 科目 12 単位を履修。
- ④ 専門展開科目 選択科目 10 科目 20 単位を履修。
- ⑤ 専門実践科目 必修科目 2 科目 4 単位を履修。
- ⑥ 専門研究科目 必修科目 2 科目 4 単位を履修。
- ⑦ 卒業研究 必修科目 1 科目 4 単位を履修。

①専門基礎科目

専門基礎科目は、現代ビジネス学科で学ぶための基礎的な学力、実践力を身につけるために開講されている。講義科目ではビジネス学の基礎を全体的・体系的に学び、演習科目ではグループワークやフィールドワークなどといった実践的な学びの基礎を体験していくことになる。また、ビジネスの現場で活用できるビジネス英語を実践的に学ぶことも目標となり、より高いビジネス英語を身につけたい場合には、「現代ビジネス英語 A・B」の選択科目も履修することができる。

②専門基幹科目

専門基幹科目は、ビジネスに必要となる経営、マーケティング、流通、経済、会計、情報に関する基礎的な知識および実践的な能力を学ぶことを目的とする。すべて必修科目である。

③専門応用科目

専門応用科目は、基幹科目で習得したビジネスに関する知識や実践的能力を発展、応用させる科目であり、経営戦略、商品開発など、ビジネス世界で必要とされる具体的、実践的な知識、能力を養成することを目的としている。13科目のなかから6科目以上選択し、12単位以上履修しなければならない。

④専門展開科目

専門展開科目は、基礎、基幹、応用科目で習得した知識を、「観光ビジネス」、「国際ビジネス」、「地域ビジネス」の3つの領域に展開・応用させていくことを目的とする。自身が選択した専門実践科目や専門研究科目に関連するものを中心に選択しつつ、専門的知識を広げるために関連する科目も選択する必要がある。20科目のなかから10科目以上選択し、20単位以上履修しなければならない。

⑤専門実践科目

専門実践科目（「ビジネス実践研究Ⅰ」・「ビジネス実践研究Ⅱ」）では、観光・国際・地域のビジネスに関する知識と能力を実践的な活動を通して総合的に学ぶ。現代ビジネス学科に所属している教員がそれぞれ演習を担当し、各教員の専門性に沿ったビジネスの世界を実践的に学んでいく。学内での学習だけでなく、学外のビジネス現場での活動なども行い、現場の問題点を学びながら、主体的な行動力を身につけていく。必修科目であり、2年次、3年次双方ともに履修しなければならない。

⑥専門研究科目

専門研究科目（「ビジネス課題研究Ⅰ」・「ビジネス課題研究Ⅱ」）では、実践科目で身につけた実践的な知識をふまえ、学問的な理論と関連させながら、ビジネスの諸領域、観光、国際、地域について研究活動をしていく。所属教員によって演習が開講され、それぞれの学問分野に即した研究活動

を行っていく。必修科目であり、3年次、4年次双方ともに履修しなければならない。

⑦卒業研究

「ビジネス卒業研究」では、①から⑥までで行った学びを振り返り、集大成としてまとめるために、卒業論文にまとめることが求められる。必修科目であり、4年次に履修しなければならない。

3) 自由選択科目

上記以外に、専門教育科目と一般教育科目の中から選択科目を6単位以上選択し、履修すること。

●他学科開放科目について

現代ビジネス学科以外の学科科目の中で、他学科開放科目として指定されている科目を履修することができる。なお、卒業要件単位には含まれない。

●キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に科目登録できる単位の上限を設ける制度である。

現代ビジネス学科では前期・後期で履修できる単位数の上限をそれぞれ24単位、1年間に履修できる単位数を48単位としている。

なお、優れた成績で単位を修得した学生については科目登録の上限に含めない科目があるので、詳しくは、「**5**キャップ制」(P20)を参照すること。

3 取得を支援する資格

現代ビジネス学科では、卒業後にビジネス世界で活躍できるよう、次の資格を取得することを支援する。

資格：日商簿記検定、ITパスポート試験、販売士
国内/総合旅行業務取扱管理者、TOEIC、
観光英語検定

4 教育課程表の記号について

・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目

必修	◎
選択必修(複数の科目から指定の単位数を必ず選択する)	○
選択(卒業要件単位)	△
自由(卒業要件単位には含まれない)	◇

5 教育課程表

現代ビジネス学科教育課程表

部門	卒業要件	授 業 科 目	単 位	開設年次および単位				再度履修	備 考	
				1年次	2年次	3年次	4年次			
一般	◎	キ リ ス ト 教 学	2	2						
	◎	キ リ ス ト 教 と 現 代 社 会	2	2						
	◎	基 礎 演 習	2	2						
	◎	日 本 語 演 習	2	2						
	◎	女 性 と 人 権	2	2						
	◎	音 楽 の 世 界	2	2						
	◎	社 会 保 障 と 福 祉	2	2						
	◎	教 養 講 義 B	2		2			可		
	◎	特 殊 研 究	2			2		可		
	◇	キ ャ リ ア 形 成 論	2				2			
	◇	日 本 国 憲 法	2			2				
	◎	自 然 科 学 入 門	2	2						
	◎	自 然 科 学 特 論	2		2			可		
	◎	科 学 技 術 論	2			2				
	◎	総 合 コ ー ス A	4		4			可	1科目4単位以上選択必修	
	◎	総 合 コ ー ス B	4		4			可		
	◎	総 合 コ ー ス C	4		4			可		
	◎	総 合 コ ー ス D	4		4			可		
	◎	総 合 コ ー ス E	4		4			可		
	教 育 科 目	◎	英 語 基 礎 (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I)	2	2					
		◎	英 語 基 礎 (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II)	2	2					
		◎	英 語 基 礎 (リ ー デ ィ ン グ I)	2	2					
		◎	英 語 基 礎 (リ ー デ ィ ン グ II)	2	2					
		△	英 語 展 開 (リ ー デ ィ ン グ III)	2			2			
		△	英 語 展 開 (リ ー デ ィ ン グ IV)	2			2			
△		英 語 展 開 (ラ イ テ ィ ン グ I)	2			2				
△		英 語 展 開 (ラ イ テ ィ ン グ II)	2			2				
△		応 用 ビ ジ ネ ス 英 語 A	2			2				
△		応 用 ビ ジ ネ ス 英 語 B	2			2				
△		時 事 英 語 A	2			2				
△		時 事 英 語 B	2			2				
◇		ド イ ツ 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	1	1						
◇		ド イ ツ 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	1	1						
◇		ド イ ツ 語 リ テ ラ シ ー I	1	1						
◇		ド イ ツ 語 リ テ ラ シ ー II	1	1						
◇		フ ラ ン ス 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	1	1						
◇		フ ラ ン ス 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	1	1						
◇		フ ラ ン ス 語 リ テ ラ シ ー I	1	1						
◇		フ ラ ン ス 語 リ テ ラ シ ー II	1	1						
◇		中 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	1	1						
◇		中 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	1	1						
◇		中 国 語 リ テ ラ シ ー I	1	1						
◇		中 国 語 リ テ ラ シ ー II	1	1						
◇		朝 鮮 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	1	1						
◇	朝 鮮 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	1	1							
◇	朝 鮮 語 リ テ ラ シ ー I	1	1							
◇	朝 鮮 語 リ テ ラ シ ー II	1	1							
◇	ス キ ル ア ッ プ 英 語	1			1		可			
◇	ス キ ル ア ッ プ ド イ ツ 語	1			1		可			
◇	ス キ ル ア ッ プ フ ラ ン ス 語	1			1		可			
◇	ス キ ル ア ッ プ 中 国 語	1			1		可			
◇	ス キ ル ア ッ プ 朝 鮮 語	1			1		可			
◇	実 践 フ ラ ン ス 語 I	2			2		可			
◇	実 践 フ ラ ン ス 語 II	2				2	可			
◇	実 践 中 国 語 I	2			2		可			
◇	実 践 中 国 語 II	2				2	可			
目	◎	運 動 ス ポ ー ツ 論	2	2						
	◇	シ ー ズ ン ス ポ ー ツ	1			1		可		
	◇	ス ポ ー ツ	1			1		可		

現代ビジネス学科

部門	卒業要件	授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考
				1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 基 礎 科 目	◎	現代ビジネス基礎 I	2	2					
	◎	現代ビジネス基礎 II	2	2					
	◎	現代ビジネス基礎 III	2	2					
	◎	現代ビジネス実務 I	2	2					
	◎	現代ビジネス実務 II	2	2					
	◎	現代ビジネス研究法	2		2				
	◎	現代ビジネス英語基礎 I	2		2				
	◎	現代ビジネス英語基礎 II	2		2				
	△	現代ビジネス英語 A	2			2			
	△	現代ビジネス英語 B	2			2			
◎	キャリアデザイン	2		2					
専 門 基 幹 科 目	◎	経営基礎	2	2					
	◎	簿記 I	2		2				
	◎	簿記 II	2		2				
	◎	マーケティング	2	2					
	◎	マーケティング調査	2		2				
	◎	ビジネス経済基礎	2		2				
	◎	ビジネス情報処理	2	2					
	◎	ビジネス情報処理演習	2		2				
	◎	ビジネス流通	2		2				
専 門 応 用 科 目	○	経営戦略	2		2			6科目12単位 以上選択必修	
	○	経営財務	2		2				
	○	商品開発	2		2				
	○	販売促進	2		2				
	○	ビジネス経済応用	2		2				
	○	経済活動と法	2		2				
	○	財務会計	2		2				
	○	原価計算	2		2				
	○	管理会計	2		2				
	○	ビジネス情報活用	2		2				
○	ビジネス情報管理	2		2					
専 門 展 開 科 目	○	流通システム	2		2			10科目20単位 以上選択必修	
	○	国際物流	2		2				
	○	観光ビジネス	2		2				
	○	地域観光	2		2				
	○	観光開発	2		2				
	○	観光地理	2		2				
	○	国際観光	2		2				
	○	観光産業	2		2				
	○	旅行実務	2		2				
	○	観光英語	2		2				
	○	国際ビジネス	2		2				
	○	海外市場	2		2				
	○	日中情勢	2		2				
	○	国際協力	2		2				
	○	地域ビジネス	2		2				
	○	地域社会	2		2				
	○	消費社会	2		2				
○	地域資源	2		2					
○	地域産業	2		2					
○	食品関連産業	2		2					
○	ものづくり産業	2		2					
○	地域振興	2		2					
専 門 実 践 研 究 目 録	◎	ビジネス実践研究 I	2		2				
	◎	ビジネス実践研究 II	2		2				
	◎	ビジネス課題研究 I	2		2				
	◎	ビジネス課題研究 II	2		2				
専 門 卒 業 研 究 目 録	◎	ビジネス卒業研究	4				4		
	計	一般教育科目	105						
	専門教育科目	118							
	合 計	223							